

創造が生まれるところ：芸術家の思考を探る

— 立体造形作家 三村友子とピアニスト田中幸治の場合 —

2024年2月21日(水) 16:30~19:00 休憩あり

教育学部 H棟 121 教室にて

プログラム

1. 「作品の制作プロセスと思考」(工学部・教育学部
准教授 三村友子氏)
2. ディスカッション
- 休憩 —
3. 「演奏家の思考」(工学部・教育学部教授 田中幸治
氏を中心に、司会や会場とのフリートーク)

芸術家は作品を提示するまでの間にどのような思考を経ているのか。芸術活動における創造の思考プロセスを、トークから探ります。

ピアノが設置された教室を会場に、田中幸治先生には要所所で実演しながら語って頂き、また三村友子先生には作品の実物も持ち込み、スライドも交えて作品制作に至る思考の過程を話して頂きます。

今回は研究発表というよりもワークショップとして

気軽にトークを繰り広げる機会として位置づけています。田中幸治先生と三村友子先生に話題提供をして頂き、それを受けて会場全体でざっくばらんに芸術創造について語り合しましょう。

本コア・ステーションのメンバーに限らず、同僚の先生方や学生など多くの方々もお誘いの上、ぜひ皆様お越し下さい。

お問い合わせ： 人文学部・教育学部 田中 咲子
etanaka@human.niigata-u.ac.jp

※ 現在、教育学部改修工事のため、H棟入口より直接建物にお入り下さい。

図左：三村友子《I know you I》(2013)

図右：W. ヘンゼル《ファニー・メンデルスゾーンの肖像》(1829)

